

ウィズ通信

女性のパワーを地域・社会へ

女性が生き生きと活躍する社会の実現に向け、ウィズせつつでは、女性のチャレンジをさまざまな形で応援しています。自分の強味とオリジナリティを活かし、自分の裁量で働き方を決められる“ネットショップ”を学び、経済的自立を考える3回講座「ネットではじめるわたしのお店」を実施しました。この講座の講師、文美月さんから、次への一步を踏み出したい女性へのメッセージです。

夢は見るものではなく叶えるもの

私は13年前に自宅でネットショップを始めました。2人の子どものみならず外で働くのが難しい状況だったからです。商材は素人だったヘアアクセサリー。今は製造や卸を行い、WEB店舗5つを運営していますが、最初から大きく事業展開を！と思っていたわけではなく、自分が人様のお役に少しでも立てるのならと、自分の知識・経験不足を克服すべく実践と勉強を繰り返し、おかげさまでたくさんの方々に助けられて少しずつ事業規模が大きくなってきました。

女性視点・生活者視点を活かせる市場は規模に関わらずまだまだたくさんありますし、どれほどの収入を得たいかによってやり方も変わってきます。既に誰かが切り開いて成功している分野を安易に選んだり、自らの強みを知らず人と同じことをやっている間は、かける時間に関係なくお店が繁盛することはないでしょう。そして「〇〇という商

材があるので(作っている)、それをネットで売ってみたい」という視点を、「～といった需要がありそうだ。そのために〇〇を(市場に合わせて変形させて)売ってみる」という視点に切り替えることも大切です。

もう母親だからと何かを諦める必要はありません。「自分らしく働きたい」という正直な気持ちに対して今何をしたらいいかを前向きに捉えていきましょう。実際に行動してみればまたそこで新しい気づきがあり、次にすべき事が見えてきます。ネットショップ運営は、生き残り競争の非常に厳しい業界ですから、主婦が時間の合間に行う仕事としては実際そんなに甘いものではありません。それでも、自己実現が可能で魅力的な生き方の一つといえます。

リトルムーンインターナショナル(株) 創業者
文美月(ぶん みつき)



摂津市立男女共同参画センター ウィズせつつは・・・

性別に関わらず、家庭、学校、職場、地域などで、一人ひとりが個人として尊重され、対等な関係を築き、共に責任を担う男女共同参画社会づくりを推進するための拠点施設です。

性別による固定的な意識を見直し、女性の自立と社会参画を推進します。また、市民の活動やネットワークづくりを応援します。



摂津市立男女共同参画センター情報誌「ウィズ通信」は、年に3回、5月・9月・1月に発行します。

男女共同参画 TOPICS

未だ遠い「2030」

「2030」とは、「社会のあらゆる分野で2020年までに指導的地位に女性が占める割合を30%以上にする」という意味です。平成26年12月24日にこの目標の確実な実現に全力を挙げると閣議決定されました。女性を積極的に活用することで多様な価値観が商品やサービスに反映され、大きな経済効果が見込めます。

しかし衆議院議員の女性比率(9.5% 平成26年12月24日現在)や女性管理職比率(11.1% 平成25年版男女共同参画白書)をはじめ、様々な分野で目標達成が難しいのが現状です。国としても、入札の評価基準に価格や技術以外のほか、「女性登用」を加えるなどしています。企業や経営者も積極的に女性の能力を活かしていくことで「2030」へより近づくのではないのでしょうか。

特集 女性のパワーを地域・社会へ

女性が本当の意味で社会の中で活躍するというのは、どういうことでしょうか。日本の女性は妊娠・出産を機におよそ8割が退職します。自分のこれからの人生を見直す時、起業したり、自由な発想で自分の問題と社会の問題を解決しようと動き出す女性たちが増えてきました。自分で生き方や働き方を選ぶ。自分ならではの視点を活かして起業する。アイデアや知恵を発信し女性たちがつながり、地域の中でムーブメントを起こし活性化する。マミー・クリスタルの企画した「人や地域をまきこむ女性リーダー塾」では、そんな女性リーダーたちの実践を語っていただきました。3人の講師からのメッセージを紹介します。

10年後の自分をイメージできますか？

「最近いろんな事に迷っている自分がいます」

「岩見さんは落ち込んだ時、どうしていますか？」

子育て中の女性向けセミナーや自分らしい働き方というセミナーで一番聞かれる質問かもしれません。悩みやジレンマはたくさんありますね。

子育てする母としての自分、妻としての自分、そして社会との関わりについて考える自分、仕事をしている自分。どれも自分です。

「自分らしさ」「ワークライフバランス」という言葉は、最近よく耳にする言葉ですが、私の答えは至ってシンプルです。「10年後の自分」がイメージできるか？ということです。

「自分らしさ」のものさしは自分の中にしかありませんし、何をもってHAPPYとするか決めるのは自分。自分のことは一番わかっているようでわからないものです。だからこそ、目標はちょっと遠くに、そう10年後にピンを立てる方が賢明だというのが私の持論です。

私は今42歳です。人生で言えば折り返し地点。記憶にない幼い頃を割り引くとこれからの人生の方がはるかに長いです。10年後は52歳。52歳の自分がどうありたいか？どんな家に住んでいる？車は？着ているものは？子どもたちはもう30歳！貯金はどのくらい？働い

ている？どんな仕事？スポーツは？より具体的にイメージすると、なりたい10年後の自分に向かって今何をすべきか、おのずと見えてきませんか？

今、たとえ子どもが熱を出して会社を休まなくてはいけなくても、そのせいで10年後の自分に影響がある？

今、働きたい仕事にうまくつけなかったとしたら、10年後の理想の仕事についている自分に向けて、明日から何をしたらいいだろう。

ちょっと遠くの目標を目指して目の前の階段を一つ一つ上がっていくと意識すると不思議と些細なことがざらりと流せるようになってくるものです。

一日一日の小さなHAPPYに感謝しながら大切に積み上げていくと、10年後は驚くほど高いところにいるかも知れません。10年後のなりたい自分をしっかりイメージすること、ぜひおすすめします。

私の10年後もちゃんと描いていますよ。

そこへ向っていくために頑張る毎日が楽しくて、楽しみで仕方がないのです。

(株)ディーラリエ代表取締役

岩見尚見(いわみ なおみ)



男女共同参画市民企画協働事業チャレンジ企画について

ウィズせつつでは、主に摂津市内で活動する市民団体を対象に、毎年4月に「男女共同参画市民企画協働事業チャレンジ企画」を募集しています。男女共同参画社会の実現をめざし、女性のエンパワメントに役立つ企画を採用し、企画団体とウィズせつつが協働して実施します。平成26年度は、「人や地域をまきこむ女性リーダー塾」、「幸せ元気に生きるコツ〜50代から考えるお金と人生設計〜」(企画:つどい場「輪」)の2企画が採用されました。

私と仕事～自分らしく輝いて～

22歳で大学を卒業後、26年間心と身体的美と健康に携わる仕事を続け、デトックスサロンを経営して9年になります。その間、結婚し2人の子どもを出産しました。私にとって仕事とは、【生きること】につながります。もちろん生活する上で収入は必要ですが、仕事を通して自分を表現できる、仕事は【生き様】だと思っています。人生何年仕事と関われるか考えてみると、そんなに時間がないように思います。会社は、理念を掲げその理念のもと日々努めます。その理念が生き様だと思うわけです。

私の理念は「幸せの道しるべ」。日常から離れ「また明日から頑張ろう」と、来店してくださる方に幸せを感じてもらえるサービスを提供することです。これは会社の理念でもあります。それには、自分が一番幸せを感じていることが必要ですし、重要な仕事にもなるわけです。幸せを感じる瞬間ってどんなことが常に考えています。

こんなサービスをすると喜んで頂けるのではないだろう

うか？お客様に言葉をかける時も理念が常に頭にあるので、お客様も心地よくいてくださっています。新しいサービス、事業を増やす時も理念を忘れません。このように【生きるテーマ】のようなものが理念となっています。

仕事が発展していくストーリーを描く、そしてそれを明確に語れるか、その仕事が自分に向いているのか、世の中は必要としているのか？ 自分を知り、どのようなことをするとお役に立てるのか？ それが、報酬に繋がり、【生き様】に繋がるように思うのです。そう考えると定年はなく、生涯現役、まだまだお役に立てることがある限り仕事を作り生きていきたいと思っています。仕事は楽しいものです。仕事を通じて自分らしく輝きたいと私は思っています。

(株)Ji-NANA 代表取締役
白水千雅(はくすい ちか)



人や地域を元気にしたい女性たちのパワー

「人や地域をまきこむ女性リーダー塾」で皆さんに一番お伝えしたかったことは、「誰もがリーダーになれる」ということです。みなさん一人ひとりが素晴らしい存在で、たくさんの可能性を持っているので、ぜひその力を発揮してもらいたいという思いを込めて企画しました。

この講座を通して、3つの目標を設定しました。

- 1.自分をじっくり見つめる
- 2.この先やりたい自分を思い描く
- 3.応援し合える仲間をつくる

忙しく毎日を過ごしていると、あまり考えることのない「自分」のこと。特に家事、育児、仕事に追われている女性は自分よりも他の誰かのことを優先にしがちです。「誰かを思いやる気持ち」に長けているのは強みですが、ただ先に「自分」という存在にしっかり目を向けて「なりたい自分」を見つけることが大切です。

環境は人それぞれですが、誰もがリーダーになれるのです。講座を受けた方々の中で、「地域で何かしたいが、何から始めたらいいのか…」という方も多く、その想いを

持っている方がたくさんいたことに、まず感動！！そんな女性たちのパワーは地域の宝だと思います。

マミー・クリスタルと他の女性グループで実行委員会を立ち上げ、地域・行政・事業者を巻き込んだイベント「摂津まるごとマーケット」を開催した時に感じたことは、誰もが想いを伝え共感を得ることで、大きな事でも成し遂げられるということです。

「子ども達が将来、自分たちの町を誇りに思えるまちづくり」「自分らしい生き方ができるまちづくり」そんな想いが、たくさんの協力者に届き、イベントが実現しました。地域が元気になると、周りの笑顔も増えてきます。そして、もっと地域や人が好きになっていきます。

最初は小さな小さなスタートでも大丈夫。いま「自分」にできることから始めて、「なりたい自分」に自信を持って進んでいく人を、これからも応援していきたいと思っています。

マミー・クリスタル代表
新田昌恵(にした よしえ)



ウィズせつつフェスタ2015プレ講演

東日本大震災から4年 あの日を忘れない

「芽でる力」

～つなぐ・ひろがる いわての女性たちの復興支援～

震災直後、がれきの撤去や建設関係など男性向けの仕事は有償になりましたが、女性の多くは避難所の炊事当番など無償のケア労働を担っていました。また、観光や水産加工などの現場が被災し、低賃金で、非正規雇用が大半の女性の雇用状況は厳しさを増し、特に若年から中高年にかけてのシングル女性や、シングルマザーは、経済的自立が困難な状況にあります。「NPO 法人参画プランニング・いわて」は、女性の就労と起業支援を目的に、震災後、復興事業の中に女性の仕事として、被災した沿岸地域の女性たちに対する心のケアや安否確認事業を担う被災地女性自立促進デリバリーケア事業(買い物代行事業)を実施しています。もりおか女性センター長の田端八重子さんから、女性の自立につながる事業に至るきっかけとなった、女性視点での災害支援についてお聞きます。

日時：2月28日(土)午後1時30分～3時30分

場所：コミュニティプラザ コンベンションホール

講師：田端八重子

(もりおか女性センター センター長、NPO 法人参画プランニング・いわて 副理事長)

定員：80人 ※お子さんの一時預かりあり(要予約)/手話通訳あり



写真展

東日本大震災から4年 あの日を忘れない

東日本大震災から4年、時間の経過とともに震災の記憶が薄らいでいます。

2月28日(土)の田端八重子さんの講演にさきがけ、写真展を開催します。

岩手日報社から提供の震災直後の被災地岩手県の写真と、復興に向けての歩みを集めた紙面を展示します。また、震災当時救援活動を行った摂津市消防職員の救援活動報告、被災地派遣職員の活動報告、NPO 法人参画プランニング・いわての女性支援の報告も合わせて展示します。被災地の今の状況を知り、自然災害に備える意識を再確認しましょう。

期間:2月13日(金)～3月1日(日)午後4時まで

場所:コミュニティプラザ1階

編集・発行 摂津市立男女共同参画センター ウィズせつつ

●開館時間：月・木・金・土・日曜日 午前9時30分～午後5時
火曜日のみ 午前9時30分～午後9時

●休館日：水曜日・祝日・年末年始

〒566-0021 摂津市南千里丘5-35 摂津市立コミュニティプラザ1階

TEL：06-4860-7112 FAX：06-4860-7113

URL：http://with-settsu.jp e-mail：danjyo@with-settsu.jp



2015年1月発行